



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社 サニックス
コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

上場取引所 東 大 福

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 富永 敏之

TEL 092-436-8870

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,395	6.5	471	△58.6	427	△60.4	48	△93.0
23年3月期第3四半期	21,974	21.9	1,138	573.2	1,080	—	692	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 59百万円 (△91.4%) 23年3月期第3四半期 687百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.01	—
23年3月期第3四半期	14.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,183	7,161	33.7
23年3月期	20,406	7,102	34.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,131百万円 23年3月期 7,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	14.9	1,070	113.2	1,010	134.8	550	—	11.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	48,919,396 株	23年3月期	48,919,396 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,210,021 株	23年3月期	1,210,021 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	47,709,415 株	23年3月期3Q	47,709,435 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
部門別連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞からサプライチェーンの復旧や自粛ムードの後退により企業活動、個人消費に持ち直しの動きが見られるようになりました。しかしながら電力不足の問題や欧州を中心とした財政問題が深刻化したことによる景気減速懸念に加えて、円高の進行等、依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、コンプライアンス体制の強化や顧客本位の営業活動を推し進めるとともに、生産性の向上に注力し業績回復を図ってまいりました。また、次世代エネルギーのひとつのビジネスモデルとして、クリーンエネルギーである太陽光発電システムの販売、並びに廃プラスチックを燃料として再生利用したリサイクルエネルギー発電を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、HS（ホーム・サニテーション）事業部門、ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門、環境資源開発事業部門ともに前年同期比増収となり、グループ全体の売上高は23,395百万円（前年同期比6.5%増）となりました。費用面では、原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、売上原価が前年同期比14.1%増となりました。

この結果、グループ全体の営業利益は471百万円（前年同期比58.6%減）、経常利益は427百万円（前年同期比60.4%減）、四半期純利益は48百万円（前年同期比93.0%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

①HS（ホーム・サニテーション）事業部門

当第3四半期連結累計期間においては、主力商品である戸建て住宅向け「太陽光発電システム」は堅調に推移し前年同期比38.0%増となりました。しかしながら、「白蟻防除施工」は前年同期比13.1%減、「床下・天井裏換気システム」は前年同期比24.4%減、「基礎補修・補強工事」は顧客への提案が一巡したこともあり前年同期比31.4%減となったことにより、売上高は12,677百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

営業損益は、既存商品に比べ原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、営業利益は1,908百万円（前年同期比28.7%減）となり、売上高対営業利益率は15.1%（前年同期は20.9%）となりました。

②ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

ビル・マンションの不動産管理会社等の法人営業による既存のビル・マンション維持管理サービスの販売に加えて、集合住宅を対象とした「太陽光発電システム」の販売にも注力してまいりました。

既存のビル・マンション維持管理サービスについては例年に比べ伸び悩んだものの、前期9月より販売開始した集合住宅向け「太陽光発電システム」が堅調に推移したことにより、売上高は2,047百万円と前年同期比2.6%増となりました。

営業損益は、原価率の低い既存商品の売上高が伸び悩んだことにより、営業損失は0百万円（前年同期は146百万円の営業利益）となりました。

③環境資源開発事業部門

「廃プラ加工処理」は、取引先件数と搬入量が堅調に増加し前年同期比24.2%増となりました。「売電収入」は、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、6月の定期修繕以降は燃料プラスチックの品質向上もあり安定操業による発電量が増加し前年同期比43.0%増となりました。「有機廃液処理」は、搬入量が堅調に増加し前年同期比14.9%増となりました。

この結果、当事業部門の売上高は8,670百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

営業損益は、生産性の向上とコスト削減に注力し収益性が改善した結果、営業利益は162百万円（前年同期は135百万円の営業損失）となり黒字に転じました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は21,183百万円となり、前連結会計年度末比776百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。負債合計は14,022百万円となり、同718百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払金の増加によるものであります。純資産合計は7,161百万円となり、同58百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益48百万円を計上したためであります。その結果、自己資本比率については前連結会計年度末34.7%に対し、当第3四半期連結会計期間末は33.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期における業績予想につきましては、H S事業部門において、再生可能エネルギーへの期待が高まる中、「太陽光発電システム」の販売増加を見込んでおりましたが、国内市場における競争激化により、販売計画が当初見込みを下回ったことや環境資源開発事業部門において北海道と本州をつなぐ送電線トラブルに伴い売電収入が減少する影響を織り込んだため下記の通り業績予想を修正いたしました。

また、当期純利益につきましては、経常利益の縮小に加え、法人税引き下げ関連法案の公布に伴う法人税等調整額の増加の影響を見込んでおります。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	1,300	1,250	830	17.40円
今回修正予想 (B)	33,300	1,070	1,010	550	11.53円
増減額(B - A)	△4,700	△230	△240	△280	—
増減率 (%)	△12.4	△17.7	△19.2	△33.7	—
(ご参考) 前期実績(平成23年3月期)	28,979	501	430	49	1.04円
前期比 (%)	14.9	113.2	134.8	—	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,347	1,773,304
受取手形及び売掛金	2,521,099	2,728,066
商品及び製品	59,493	52,203
原材料及び貯蔵品	1,582,927	1,816,557
その他	694,389	678,372
貸倒引当金	△105,828	△116,837
流動資産合計	5,890,429	6,931,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,260,413	2,100,443
機械装置及び運搬具（純額）	144,994	160,357
土地	8,979,529	8,979,529
その他（純額）	378,179	407,062
有形固定資産合計	11,763,116	11,647,393
無形固定資産		
のれん	849,383	765,378
その他	61,035	59,782
無形固定資産合計	910,419	825,161
投資その他の資産	1,842,705	1,779,250
固定資産合計	14,516,241	14,251,804
資産合計	20,406,670	21,183,473
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	867,782	1,407,037
短期借入金	2,425,000	2,212,500
未払金	1,449,293	2,158,529
未払法人税等	242,661	137,033
引当金	31,753	36,353
その他	1,944,182	2,168,995
流動負債合計	6,960,673	8,120,449
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	4,319,226	3,748,672
退職給付引当金	1,329,172	1,363,655
役員退職慰労引当金	177,555	177,881
処分場閉鎖費用引当金	289,414	310,260
その他	228,076	221,210
固定負債合計	6,343,445	5,901,678
負債合計	13,304,118	14,022,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
利益剰余金	△5,391,444	△5,343,052
自己株式	△1,610,766	△1,610,767
株主資本合計	7,039,624	7,088,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,620	43,794
その他の包括利益累計額合計	32,620	43,794
少数株主持分	30,307	29,535
純資産合計	7,102,551	7,161,345
負債純資産合計	20,406,670	21,183,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	21,974,026	23,395,785
売上原価	13,456,397	15,355,973
売上総利益	8,517,629	8,039,811
販売費及び一般管理費	7,379,604	7,568,234
営業利益	1,138,024	471,577
営業外収益		
受取利息	5,091	4,651
受取配当金	7,132	11,411
受取地代家賃	50,459	50,657
その他	29,857	26,886
営業外収益合計	92,540	93,606
営業外費用		
支払利息	144,373	128,642
その他	5,698	8,977
営業外費用合計	150,072	137,620
経常利益	1,080,492	427,562
特別利益		
関係会社株式売却益	7,000	—
貸倒引当金戻入額	2,637	—
賞与引当金戻入額	64,788	—
固定資産売却益	170	3,715
特別利益合計	74,596	3,715
特別損失		
固定資産除却損	572	8,113
リース解約損	878	1,458
災害による損失	991	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	114,268	—
特別損失合計	116,711	9,571
税金等調整前四半期純利益	1,038,377	421,706
法人税、住民税及び事業税	184,544	159,507
法人税等調整額	159,831	214,254
法人税等合計	344,375	373,762
少数株主損益調整前四半期純利益	694,001	47,944
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,187	△446
四半期純利益	692,814	48,391

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	694,001	47,944
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△6,864	11,174
その他の包括利益合計	△6,864	11,174
四半期包括利益	687,137	59,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	685,949	59,566
少数株主に係る四半期包括利益	1,187	△446

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,775,211	1,996,331	7,202,483	21,974,026	—	21,974,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,775,211	1,996,331	7,202,483	21,974,026	—	21,974,026
セグメント利益又は 損失 (△)	2,675,081	146,444	△135,180	2,686,345	△1,548,320	1,138,024

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,548,320千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,677,461	2,047,483	8,670,840	23,395,785	—	23,395,785
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,677,461	2,047,483	8,670,840	23,395,785	—	23,395,785
セグメント利益又は 損失 (△)	1,908,177	△262	162,043	2,069,959	△1,598,381	471,577

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,598,381千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

品 目	期 別	数量 単位	前第3四半期 連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		比 較 増 減	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
			白蟻防除施工	千坪	602	3,399,764	528	2,953,933
床下・天井裏換気システム	—	—	2,397,589	—	1,813,448	—	△ 584,141	
基礎補修・補強工事	軒	3,780	1,606,322	2,599	1,102,139	△ 1,181	△ 504,182	
家屋補強システム	軒	392	309,729	370	290,496	△ 22	△ 19,233	
太陽光発電システム	kw	7,678	2,797,201	10,907	3,861,421	3,228	1,064,220	
その他	—	—	2,264,603	—	2,656,022	—	391,419	
H S 事業部門計	—	—	12,775,211	—	12,677,461	—	△ 97,749	
防錆機器取付施工	本	382	515,438	332	338,550	△ 50	△ 176,887	
建物給排水補修施工	—	—	582,152	—	644,111	—	61,958	
建物防水塗装補修施工	—	—	357,037	—	285,141	—	△ 71,895	
太陽光発電システム	kw	116	52,872	719	310,727	602	257,855	
その他	—	—	488,830	—	468,952	—	△ 19,878	
E S 事業部門計	—	—	1,996,331	—	2,047,483	—	51,152	
廃プラ加工処理	t	221,230	3,820,647	265,031	4,743,955	43,801	923,307	
有機廃液処理	t	75,158	1,070,125	89,079	1,229,309	13,921	159,183	
売電収入	—	—	1,143,050	—	1,635,065	—	492,015	
埋立処理	—	—	710,902	—	585,665	—	△ 125,236	
その他	—	—	457,757	—	476,844	—	19,086	
環境資源開発事業部門計	—	—	7,202,483	—	8,670,840	—	1,468,356	
売上高計	—	—	21,974,026	—	23,395,785	—	1,421,759	

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。